

3 茶農薬展示ほ調査基準

[病 害]

1 輪斑病

1) 供試茶園 品種「やぶきた」の茶園で行う。

2) 散布時期

二番茶又は三番茶摘採作業直後（保護剤）～3日以内（治療効果のある剤）に散布。

3) 調査方法

・最終散布の14日前後に一定面積内の発病葉数を調査し、1m²当たりの発病葉数と対照薬剤に対する割合を算出する。なお、調査面積は、病害の発生程度により適宜変更する。

4) 調査結果

(m²当り)

区 別	農 薬 名	濃 度	散 布 量	発 病 葉 数	対 照 区 比 率 (%)	薬 害 有 無
展示区						
対照区					100	

2 新梢枯死症

1) 供試茶園 品種「やぶきた」の茶園で行う。

2) 散布時期

・秋芽の1葉と3葉期の体系散布もしくは試験条件による。

注：本症は、輪斑病菌が萌芽から開葉期にかけて、包葉などがとれたときにできる傷口から感染し新梢が枯死する。

3) 調査方法

・最終散布の約40～50日後に1m²当たり3ヶ所について、発現本数を調査し対象薬剤に対する割合を算出する。

4) 調査結果

(m²当り)

区 別	農 薬 名	濃 度	散 布 量	発 病 本 数	対 照 区 比 率 (%)	薬 害 有 無
展示区						
対照区					100	

3 炭疽病

1) 供試茶園 品種「やぶきた」の茶園で行う。

2) 散布時期

・0.5～1葉期及びその7日後の体系散布もしくは試験条件による。又は0.5～1葉期の1回散布。

3) 調査方法

・最終散布の約20日前後に1m²当たり3ヶ所について、発病葉数を調査し対象薬剤に対する割合を算出する。

4) 調査結果

(m²当たり)

区別	農薬名	濃度	散布量	発病葉数	対照区比率(%)	葉害有無
展示区						
対照区					100	

4 もち病

- 1) 供試茶園 品種は問わない。
- 2) 散布時期
 - ・0.5葉期及びその7日後の体系散布もしくは試験条件による。又は0.5～1葉期の1回散布
- 3) 調査方法
 - ・最終散布の約14日後に1m²当たり3ヶ所について、発病葉数を調査し対象薬剤に対する割合を算出する。

4) 調査結果

(m²当たり)

区別	農薬名	濃度	散布量	発病葉数	対照区比率(%)	葉害有無
展示区						
対照区					100	

5 網もち病

- 1) 試供茶園 品種は問わないができれば「やぶきた」
- 2) 散布時期
 - 秋芽の0.5～1葉期および3葉期の体系による2回散布。
(ただし供試薬剤の試験条件による)
- 3) 調査方法

最終散布後の60～70日後に、一定面積内の発病葉数を調査し、1m²当たりの発病葉数と対照薬剤に対する割合を算出する。なお調査面積は、病害の発生程度により適宜変更する。

4) 調査結果

(m²当たり)

区別	農薬名	濃度	散布量	発病葉数	対照区比率(%)	葉害有無
展示区						
対照区					100	

〔虫 害〕

ハマキ類（チャノホソガ、チャノコカクモンハマキ、チャハマキ）

- 1) 供試茶園 品種は問わない。
- 2) 散布時期
 - ・チャノホソガ：卵～若齢幼虫期に散布する。
 - ・チャノコカクモンハマキ：若齢幼虫発生期に散布する。

- ・チャハマキ：若齢幼虫発生期に散布する。
- 3) 調査方法（・チャノホソガ・チャノコカクモンハマキ・チャハマキ）
 ・散布後5～10日日に各区1m²当たり3ヶ所について、全巻葉数を調査する。又、巻葉数50葉について生死虫数を調査する。
- 4) 調査結果（・チャノホソガ・チャノコカクモンハマキ・チャハマキ）

区別	農薬名	濃度	散布量	発病葉数	虫数			葉害有無
					生	死	計	
展示区								
対照区								

2 チャノミドリヒメヨコパイ

- 1) 供試茶園 品種は問わない。
- 2) 散布時期
 ・開葉期（1・2・3番茶期及び秋芽期）に散布する。
- 3) 調査方法
 ・散布前及び散布後5日後に、たたき落し法により、成幼虫の生息密度を調査（3ヶ所）する。
 又、散布10～15日後に3ヶ所について枠（25×20cm）を用いて枠摘みし、被害芽数を調査する。
- 4) 調査結果

区別	農薬名	濃度	散布量	生息虫数		被害芽数 (3ヶ所)計	葉害有無
				散布前	5日後		
展示区							
対照区							

3 チャノキイロアザミウマ

- 1) 供試茶園 品種は問わない。
- 2) 散布時期
 ・開葉期（1・2・3番茶期及び秋芽期）に散布する。
- 3) 調査方法
 ・散布前及び散布後7日後に、たたき落し法により、成幼虫の生息密度を調査（3ヶ所）する。
 又、散布10～15日後に3ヶ所について枠（25×20cm）を用いて枠摘みし、被害芽数を調査する。
- 4) 調査結果

区別	農薬名	濃度	散布量	生息虫数		被害芽数 (3ヶ所)計	葉害有無
				散布前	5日後		
展示区							
対照区							

4 クワシロカイガラムシ

- 1) 供試茶園 品種は問わない。
- 2) 散布時期
 - ・幼虫発生期（第1・2・3若齢幼虫期）に散布する。
- 3) 調査方法
 - ・散布後10～15日目に、雄まゆの付着を無・少・中・多・甚に別けて観察する。
 - 又、できれば1区から3枝を選び100頭について死虫数を調査する。
- 4) 調査結果（・クワシロカイガラムシ）

区 別	農 薬 名	濃 度	散 布 量	雄まゆ付着数						死虫数 (3枝)	薬害 有無
				無	少	中	多	甚	計		
展示区											
対照区											

5 チャノナガサビダニ

- 1) 供試茶園 品種は問わないができれば「やぶきた」。
- 2) 散布時期 秋芽での発生時。
- 3) 調査方法

散布前および散布7日後、14日後に各区からやや硬化した新葉を20枚採取し、実体顕微鏡（25～30倍程度）で葉裏の生息数を数える。

密度が高いときは、葉裏の葉身中央部の中肋に接しない部分（各葉2カ所）について、同様に実体顕微鏡（25～30倍程度）で1視野当たりの生息虫数を調査する（図参照）。

実体顕微鏡25～30倍程度



高密度時の調査方法

4) 調査結果

区 別	農 薬 名	濃 度	散 布 量	生 息 虫 数			対照区比率 (%)	薬害有無
				散 布	7 日 後	14 日 後		
展示区								
対照区								

6 チャノホコリダニ

- 1) 供試茶園 品種は問わないができれば「やぶきた」。
- 2) 散布時期 秋芽での発生時。
- 3) 調査方法

散布前および散布7日後、14日後に各区から任意に20芽を採取し、上位の展開葉1～2葉について実体顕微鏡（25～30倍程度）で、葉裏の生息数を数える（調査法はチャノナガサビダニに準じる）。

4) 調査結果

区別	農薬名	濃度	散布量	生息虫数			対照区比率 (%)	葉害有無
				散布	7日後	14日後		
展示区								
対照区								

7 ハスモンヨトウ

- 1) 供試茶園 品種は問わない。
- 2) 散布時期 試験場、防除所等のフェロモントラップの誘殺数を参考に秋芽で実施する。
- 3) 調査方法

散布前および散布7日後に、一定面積内の被害芽数を調査し、1m²当たりの被害芽数で算出する。

4) 調査結果

区別	農薬名	濃度	散布量	被害芽数／m ²		対照区比率 (%)	葉害有無
				散布前	7日後		
展示区							
対照区							

8 カンザワハダニ

1) 散布時期

指定があればそれに従うが、そうでなければ摘採21日以前とし、崩芽前、開葉期など生育ステージを記録する。

2) 調査方法

各区20葉程度を任意に取り、生息虫数を計数する。試験が若葉の多い時期であるならば、調査葉が若葉のみにならないよう、若葉と古葉を10枚ずつ調査するが、ダニの発生量が少ない場合には調査葉数は適宜増やす。

処理前、処理1日後、同3日後、7日後に調査する。このとき、雌成虫のみを計数したか、全虫数を計数したかは成績に明記し、葉あたり虫数もしくは20葉あたり虫数に換算して表記する。葉剤の特性によっては散布1日後の調査は省いても良く、剤の特徴によっては散布後21日後まで適宜調査を実施する。複数回散布の場合は最終散布7日後の調査等を追加する。

3) 調査結果

区別	農薬名	濃度・散布量 (倍)	生息虫数（上段：虫数 下段：散布前比）				害
			散布前 (月日)	1日後	3日後	7日後	
展示区							
対照区							

無防除区がある場合には補正密度指数等を記載してよい。

茶病害虫の発生程度別面積の算定方法

予察対象単位の面積と調査点数および次に示す発生程度基準から発生程度別面積を求める。

ア 白 星 病

程 度	發芽率 (%)
無	0
少	1 ~ 10
中	11 ~ 40
多	41 ~ 70
甚	71 以上

イ 炭 そ 病

程 度	1 m ² 当たり病葉数
無	0
少	1 ~ 10
中	11 ~ 50
多	51 ~ 200
甚	201 以上

ウ もち病、網もち病

程 度	1 m ² 当り病葉数
無	0
少	1 ~ 20
中	21 ~ 100
多	101 ~ 300
甚	301 以上

エ コカクモンハマキ チヤハマキ

程 度	1 m ² 当り巻葉数
無	0
少	1 ~ 10
中	11 ~ 30
多	31 ~ 50
甚	51 以上

オ チヤノホソガ

程 度	1 m ² 当り巻葉数
無	0
少	1 ~ 30
中	31 ~ 100
多	101 ~ 250
甚	251 以上

カ ミドリヒメヨコバイ

程 度	被 害 芽 率 (%)
無	0
少	1 ~ 5
中	6 ~ 15
多	16 ~ 30
甚	31 以上

キ カンザワハダニ

程 度	寄 生 葉 率 (%)
無	0
少	1 ~ 10
中	11 ~ 30
多	31 ~ 70
甚	71 以上